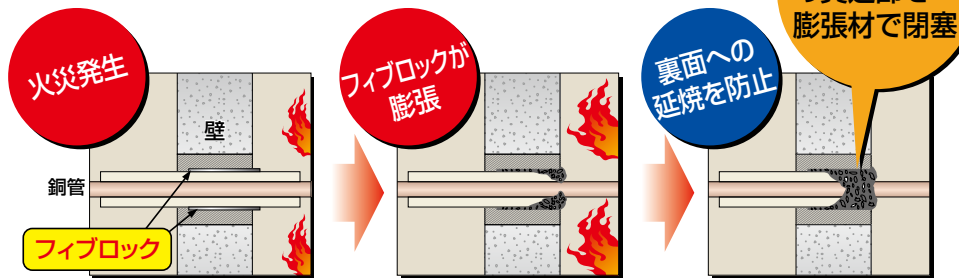


熱膨張耐火材「ファイブロック」とは？

積水化学が開発したシート状のプラスチック系耐火材料です。200℃以上の加熱で膨張し火災発生と同時に高断熱層を形成。炎の侵入を防ぎます。



ファイブロック 冷媒管用パテレスキット 施工手順動画

<https://www.fiblock.com/movie/>

ファイブロック 冷媒管用パテレスキットの施工手順が動画でご覧いただけます。

ファイブロック 動画一覧

動画一覧はこちら！



⚠ 使用上の注意

- ファイブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 本製品は（一財）日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、マンション等の共住区画の貫通部にはお使いいただけません。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- ファイブロックの幅は規定の寸法となっておりますので、幅を変えて使用しないでください。
- ファイブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
- 区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 必要に応じて、手袋や保護メガネ等適切な保護具を使用してください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿的环境下、結露する場所では使用しないでください。
- 製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 積水化学工業株式会社

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 積水マテリアルソリューションズ株式会社

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先にお問い合わせいたします。

*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

不許転載

2016年 1月 初 版
2024年 3月 改訂9版-3刷

熱膨張耐火材ファイブロック
カタログ(冷媒管用)

積水化学工業株式会社
耐火材料事業部

ツールコード

No. 05147

2024.3. 5TH TX

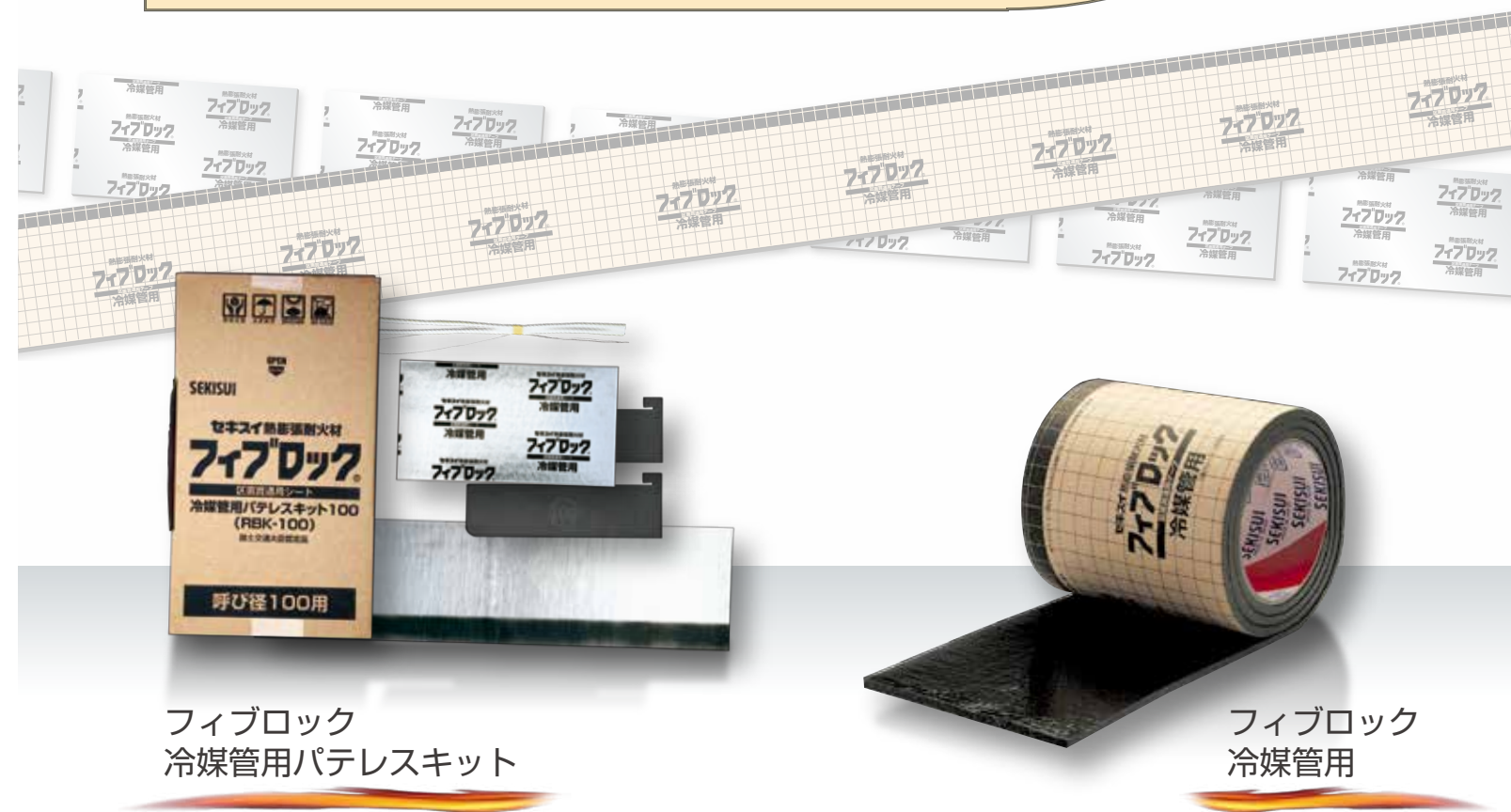
SEKISUI

2023.12 改訂9版

熱膨張耐火材

冷媒管用 ファイブロック®

国土交通大臣認定品



火災発生時に膨張、貫通部に高断熱層を形成。延焼を防止!

ファイブロック® 冷媒管用パテレスキット

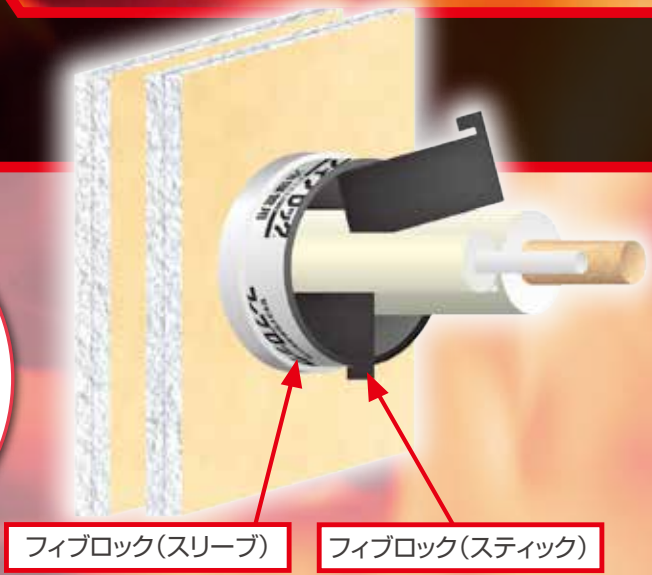
パテレス、鋼製スリーブで従来品より
施工時間を大幅に短縮!!

高い利便性!

- 開口と開口の離隔距離は10mmまで短縮できます。
- 4ラインナップで様々な開口径に対応できます。
- 1キット／1開口の使い切りです。

簡単施工!

- 中空壁で鋼製枠が不要です。
- 片側からの施工で完了します。
- 開口部へのパテ充填が不要です。



ファイブロック冷媒管用パテレスキットの適用範囲

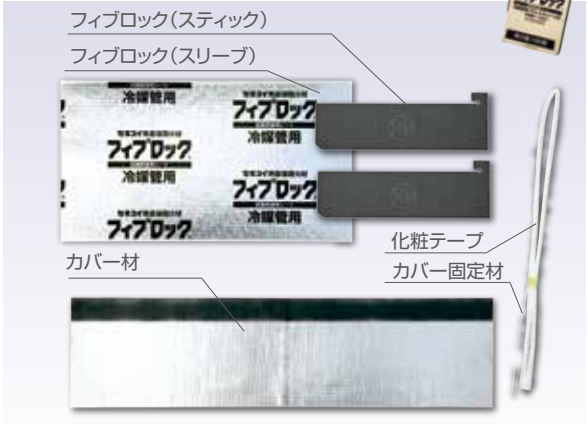
適用場所	種類	厚さ	開口径	国土交通大臣認定番号
壁	片壁	42mm以上	φ163mm以下	PS060WL-0767-1
	中空壁	74mm以上		PS045WL-0765
	ALC、コンクリート	80mm以上		PS060WL-0769
床	ALC、コンクリート	100mm以上	φ163mm以下(φ223mm以下※)	PS060FL-0763

※床施工時に鋼製スリーブをモルタルで埋め戻す場合 ●詳しくは各認定書・カタログ等をご確認ください。

使用部位	壁			床	
	片壁	中空壁	ALC、コンクリート	鋼製枠無し	鋼製枠あり
認定番号	PS060WL-0767-1	PS045WL-0765・PS060WL-0769		PS060FL-0763	
施工イメージ図					

※本製品は、(一財)日本消防設備安全センター評定を取得しておりません。

キット内容



冷媒管耐火試験

	加熱前	加熱後
片壁 施工裏面加熱		
中空壁 施工面加熱		

各種壁、床(鋼製枠有or無し)で認定取得しています。

適用管種

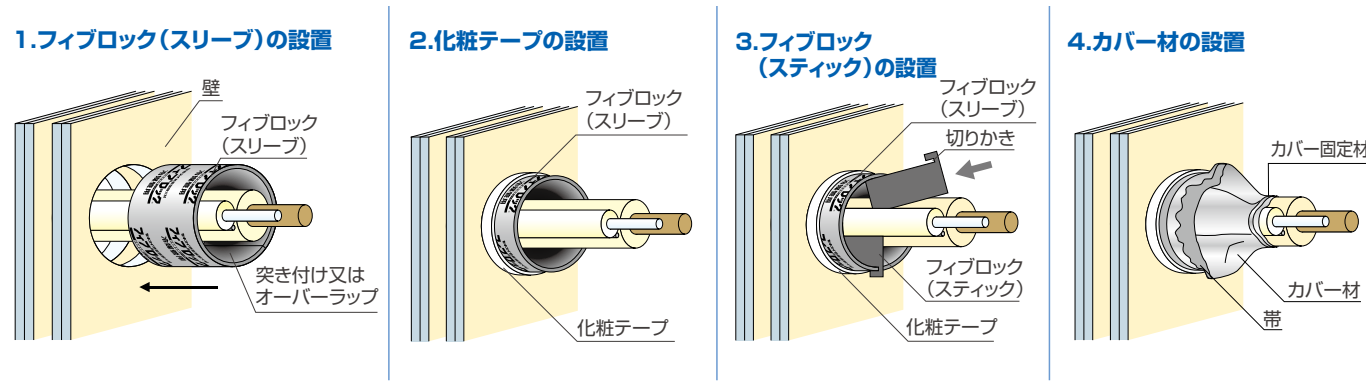
種類	スペック
冷媒管 (保温材厚み20mm以下)	銅管 外径φ38.10mm以下 アルミ管 外径φ40mm以下
ケーブル	3.5mm ² ×4C以下
ドレン用排水管ACドレンパイプ	呼び径50以下
占積率	62.3%以下



ファイブロック冷媒管用パテレスキットの仕様

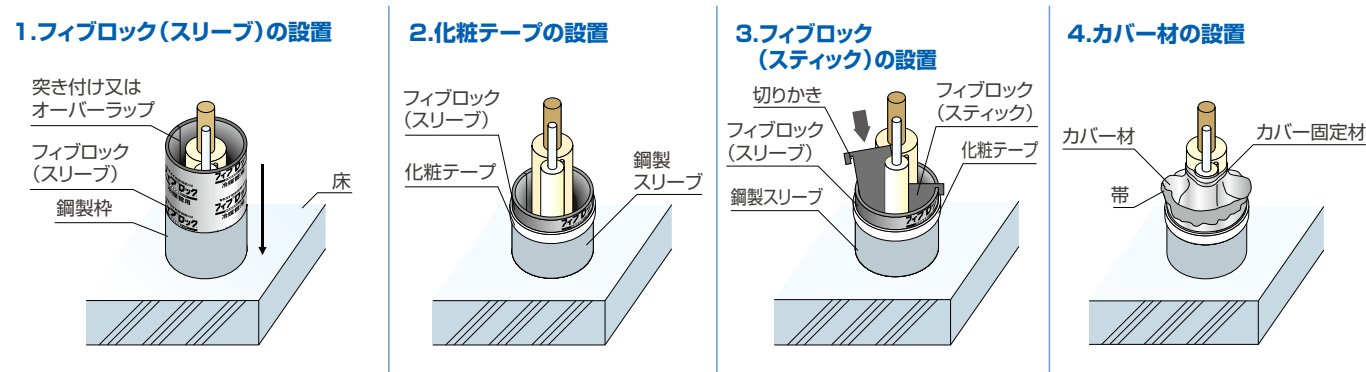
品 名 パテレスキット	品 番	キット内容					入 数
		フィブロック (スリーブ)	フィブロック (スティック)	化粧テープ	カバー材	カバー 固定材	
		幅×長さ×厚み (mm)			幅×長さ (mm)		
75	RBK-075	267×191×2.25	42×201×4.5	10×500×5	130×400	4×700	10キット/ケース
100	RBK-100	347×191×2.25	55×201×4.5	10×700×5	130×500		
125	RBK-125	425×191×2.25	67×201×4.5	10×900×5	130×600		
150	RBK-150	513×191×2.25	81×201×4.5	10×1000×5	130×700		

標準施工方法：壁(丸穴)の場合<国土交通大臣認定番号:PS060WL-0769(RC/ALC・中空壁)>



※標準施工方法の詳細につきましては、P.3をご確認ください。

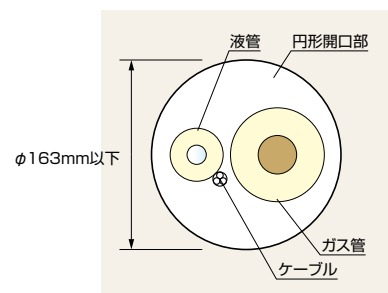
標準施工方法：床の場合<国土交通大臣認定番号:PS060FL-0763(RC/ALC床)>



※鋼製スリーブのありなしにつきましては認定書をご確認ください。
※標準施工方法の詳細につきましては、P.5をご確認ください。

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。

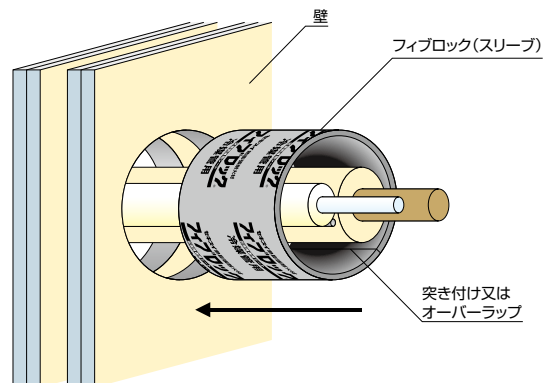


2. フィブロック(スリーブ)の設置

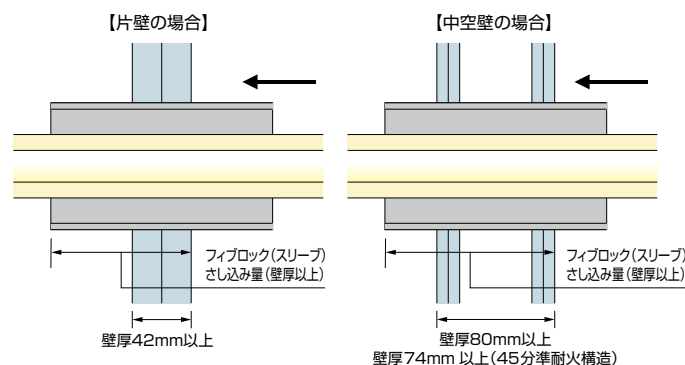
- 配管、配線した後、管等の表面の埃・汚れを除去します。
- アルミ面を外側に、フィブロックのロゴが壁面に対し、平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

ポイント

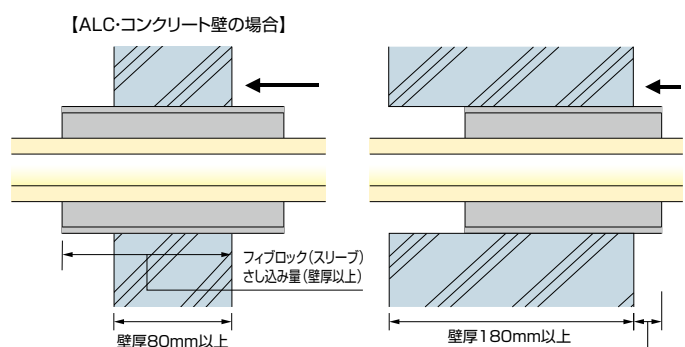
- 壁からの出寸法が左右でほぼ等しくなるように配置してください。
※寸法の指定はありません。



◎スリーブの状態



※壁厚180mmを超える場合はご連絡ください。



ポイント

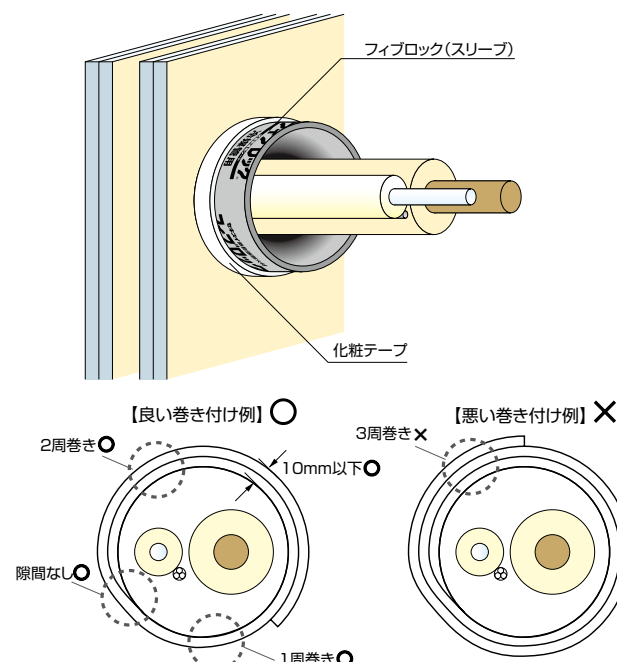
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを壁面に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

ポイント

- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。

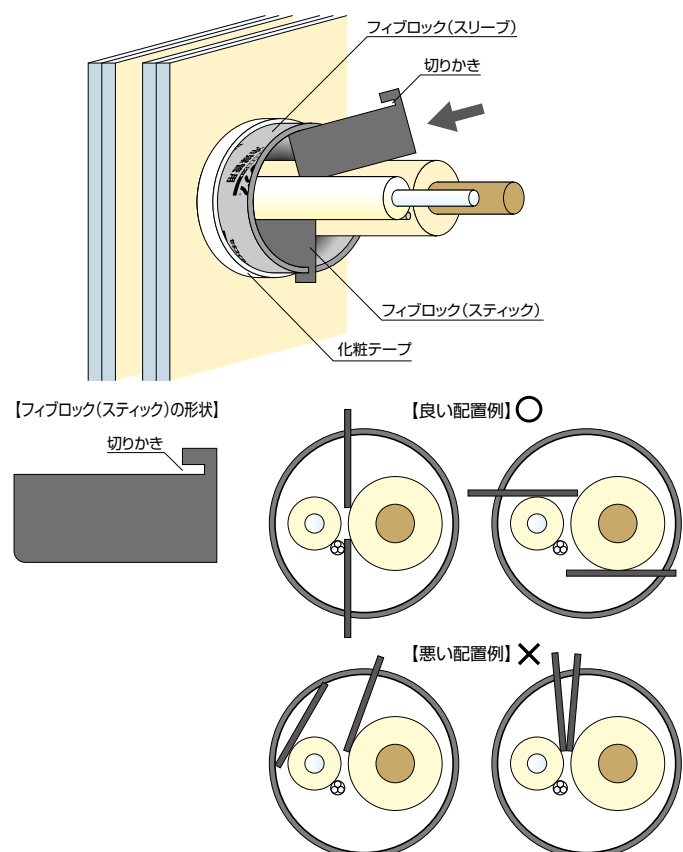


4. フィブロック(スティック)の設置

- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。

ポイント

- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。

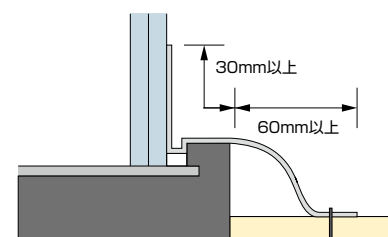
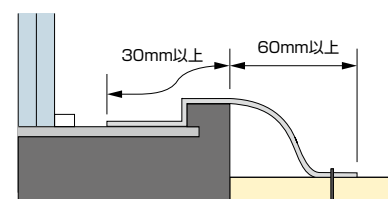
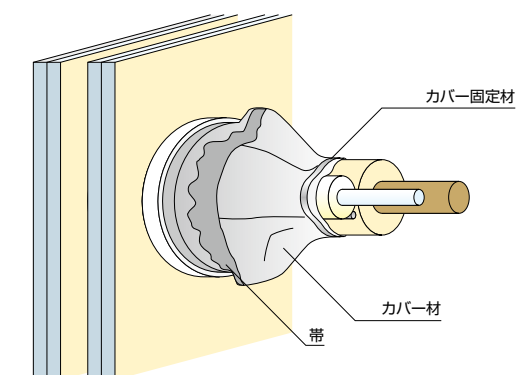
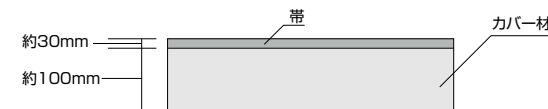


5. カバー材の設置

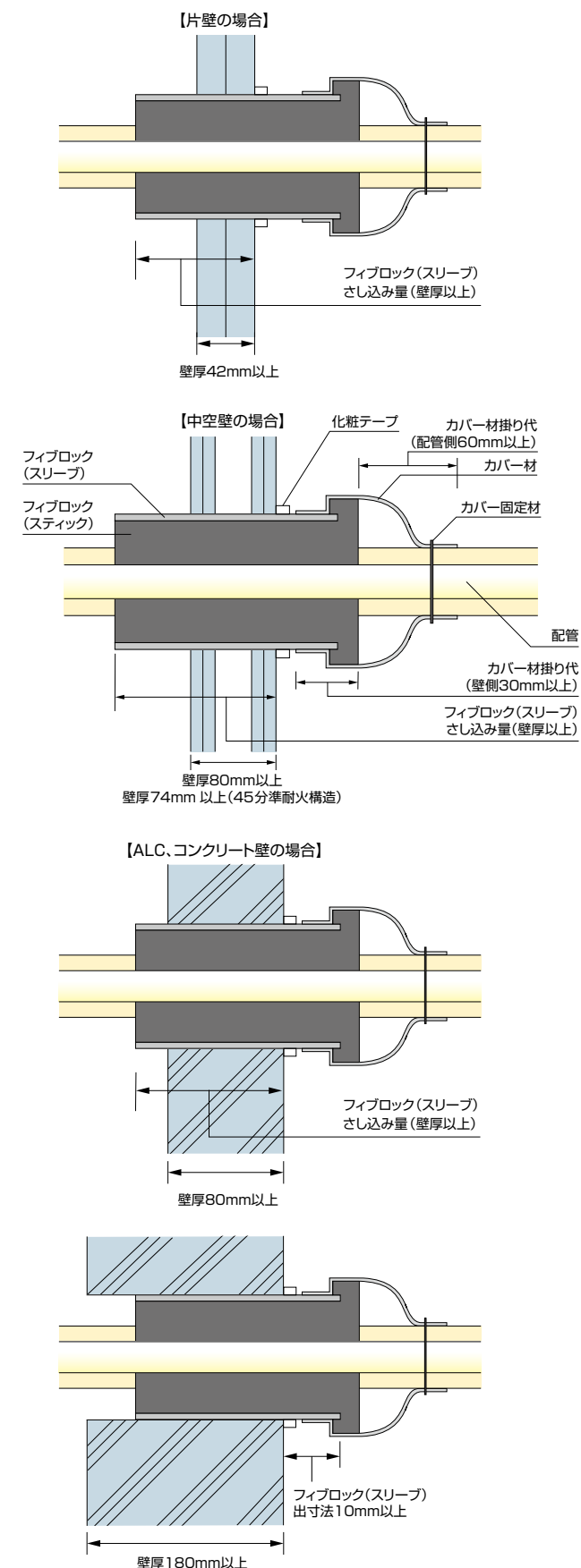
- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- フィブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部で固定してください。

ポイント

- カバー材の帯を目安にして30mm以上、壁側に設置します。
- フィブロック(スティック、スリーブ)の出寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、壁面に掛かるように設置してください。
- 配管への掛け代が60mm以上であることを確認してください。

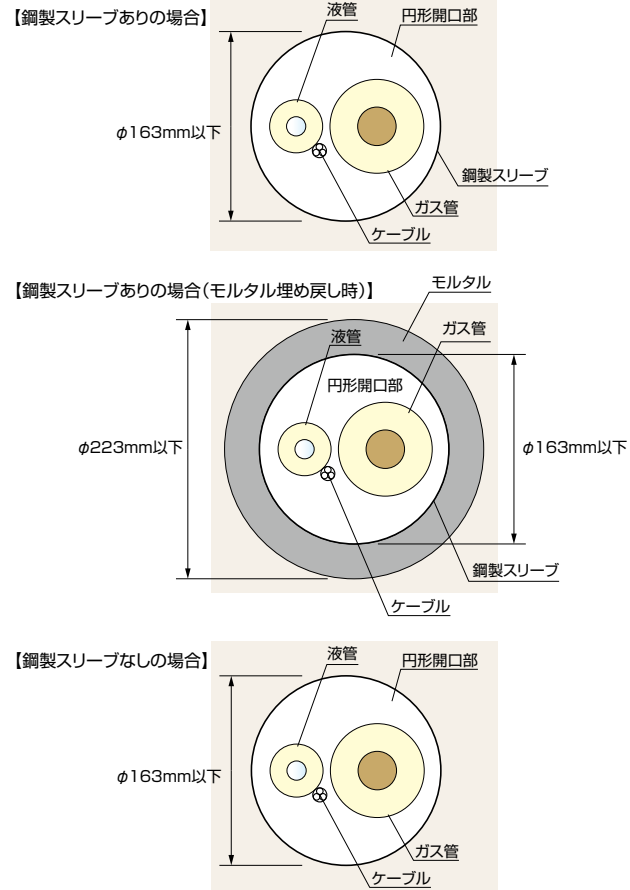


◎施工状態



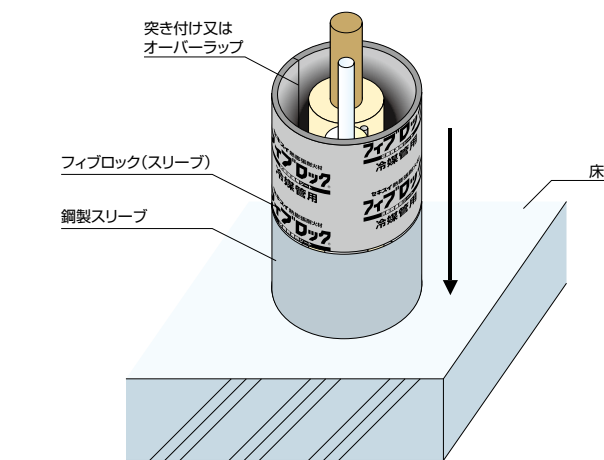
1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。

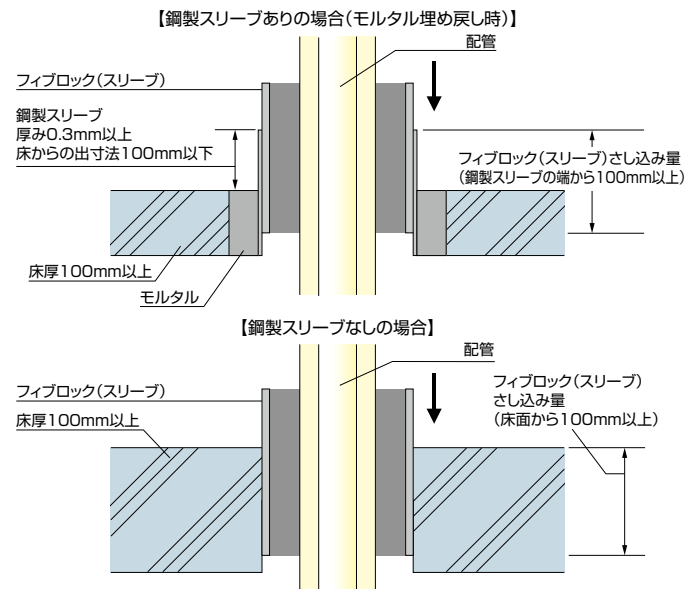
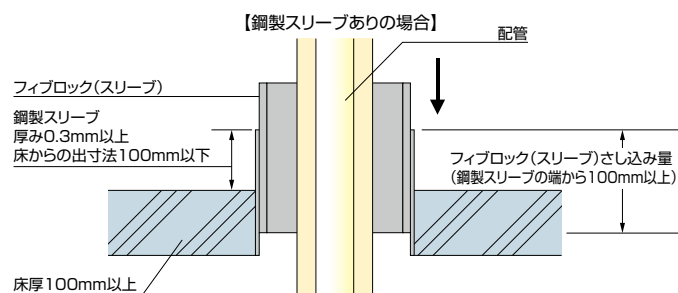


2. フィブロック(スリーブ)設置

- 配管、配線した後、管表面の埃・汚れを除去します。
- アルミ面を外側にして、フィブロックのロゴが床面に対して平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が落下しないように十分注意してください。



◎各床に対するスリーブの設置状態

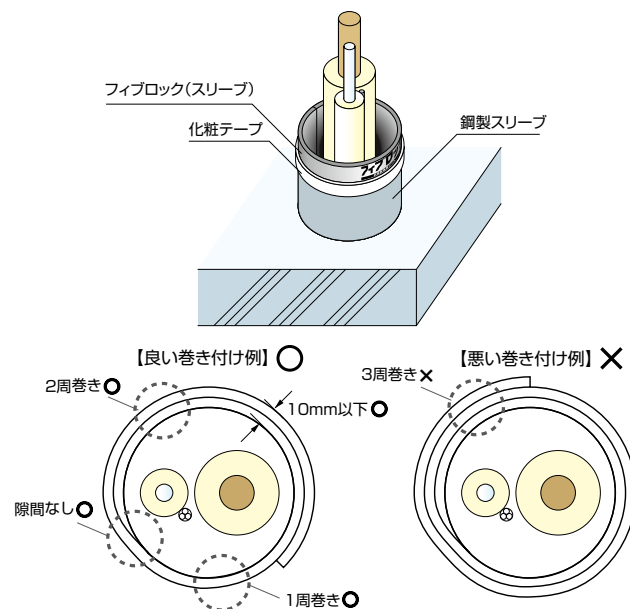


3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを鋼製スリーブの端、または床面(鋼製スリーブなしの場合)に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

ポイント

- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。

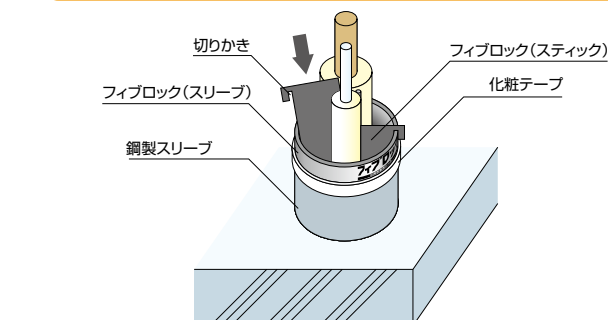


4. フィブロック(スティック)設置

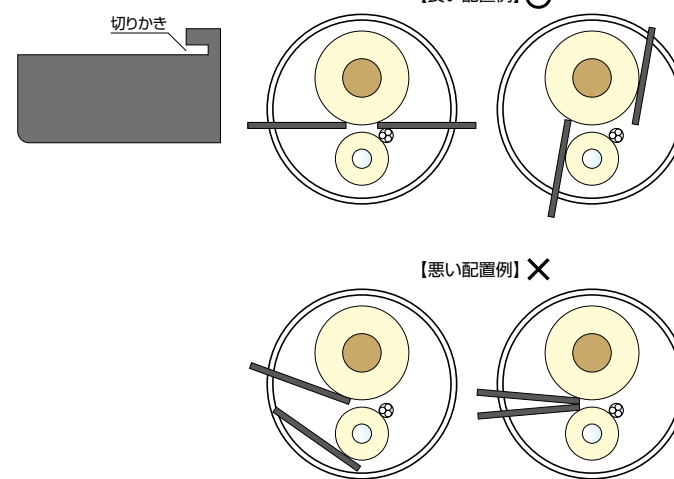
- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。
- フィブロック(スティック)が落下しないように十分注意してください。

ポイント

- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。



【フィブロック(スティック)の形状】

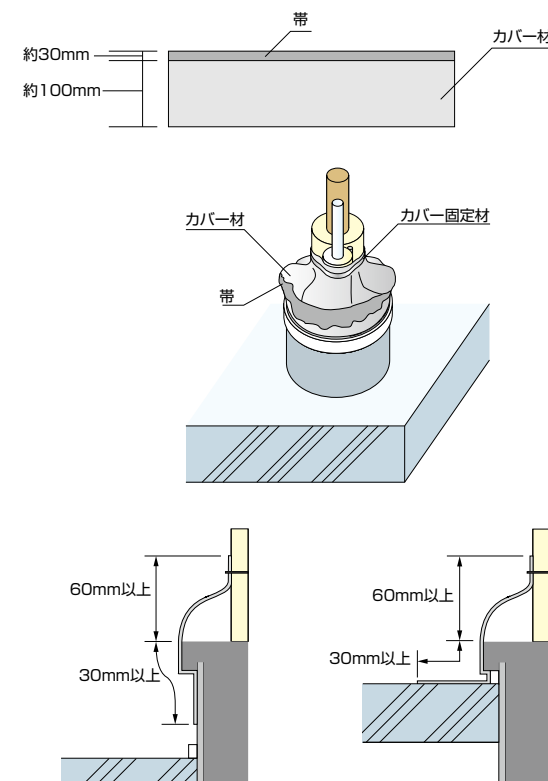


5. カバー材の設置

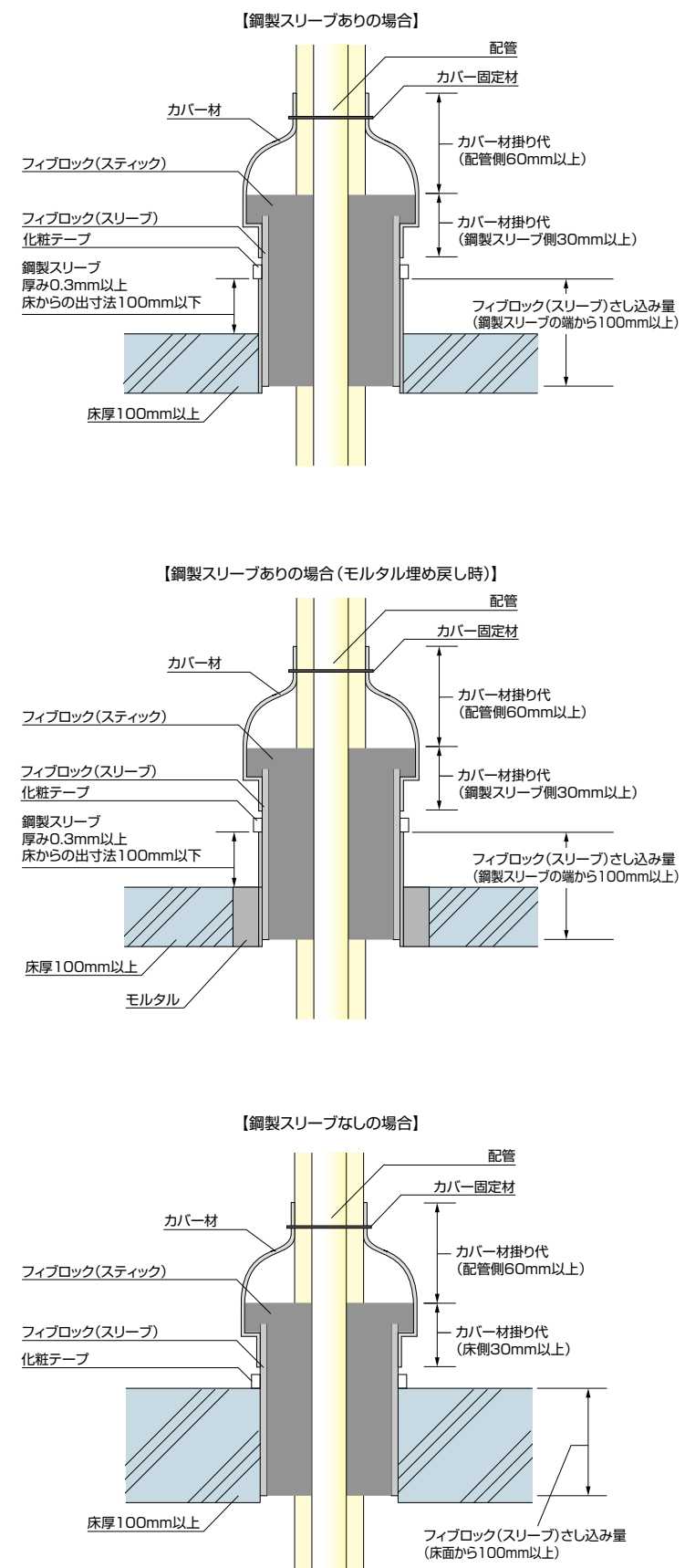
- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- フィブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部で固定してください。

ポイント

- カバー材の帯を目安にして30mm以上、鋼製スリーブまたは床側へ設置します。
- フィブロック(スティック、スリーブ)の出寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、床面に掛かるように設置してください。
- 配管への掛け代が60mm以上であることを確認してください。



◎施工状態



パテレスキット 75（呼び径 75 用 φ85mm 以下）

保温材厚 ガス管 / 10mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	2					
	12.70	34	1	1				
	15.88	37	1	1				
	19.05	41	1	1				
	22.22	44	1					
	25.40	47						
	28.58	50						
	31.75	53						
	34.92	57						
	38.10	60						

パテレスキット 100（呼び径 100 用 φ110mm 以下）

保温材厚 ガス管 / 10mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	4					
	12.70	34	3	3				
	15.88	37	3	2	2			
	19.05	41	2	2	2	1		
	22.22	44	2	2	1	1	1	
	25.40	47	2	1	1	1	1	1
	28.58	50	1	1	1	1	1	1
	31.75	53	1	1	1	1		
	34.92	57	1	1	1	1		
	38.10	60	1	1	1			

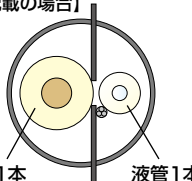
パテレスキット 125（呼び径 125 用 φ135mm 以下）

保温材厚 ガス管 / 10mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	7					
	12.70	34	5	5				
	15.88	37	4	4	3			
	19.05	41	3	3	3	2		
	22.22	44	3	3	2	2	2	
	25.40	47	2	2	2	2	2	
	28.58	50	2	2	2	2	2	2
	31.75	53	2	2	2	2	1	1
	34.92	57	2	2	2	1	1	1
	38.10	60	1	1	1	1	1	1

パテレスキット 150（呼び径 150 用 φ163mm 以下）

保温材厚 ガス管 / 10mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	10					
	12.70	34	8	8				
	15.88	37	6	6	5			
	19.05	41	6	6	4	4		
	22.22	44	6	4	4	3	3	
	25.40	47	4	4	3	3	3	3
	28.58	50	4	4	3	3	3	3
	31.75	53	3	3	3	3	2	2
	34.92	57	3	3	3	3	2	2
	38.10	60	3	3	2	2	2	2

【例:1と記載の場合】



数字は、ガス管、液管の
各本数を表しています。

保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	1					
	12.70	54	1	1				
	15.88	57	1	1	1			
	19.05	61	1	1				
	22.22	64	1	1				
	25.40	67	1	1				
	28.58	70	1					
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	2					
	12.70	54	2	2				
	15.88	57	2	2	2			
	19.05	61	1	1	1	1		
	22.22	64	1	1	1	1	1	
	25.40	67	1	1	1	1	1	
	28.58	70	1	1	1	1	1	1
	31.75	73	1	1	1	1	1	
	34.92	76	1	1	1	1		
	38.10	80	1	1	1	1		

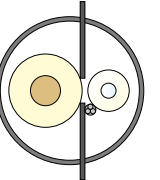
保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 10mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	4					
	12.70	54	3	3				
	15.88	57	3	3	3			
	19.05	61	3	3	2	2		
	22.22	64	2	2	2	2	2	
	25.40	67	2	2	2	2	2	
	28.58	70	2	2	2	2	2	1
	31.75	73	2	2	2	2	1	1
	34.92	76	1	1	1	1	1	1
	38.10	80	1	1	1	1	1	1

配管（収納）本数の注意事項

本適合表は、以下の条件を元に作成しております。

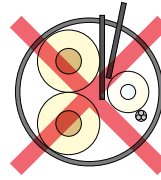
- ①開口径は認定上の最大口径としています。
- ②フィブロックスティックの位置は推奨配置とします。
- ③フィブロックスリーブの内径は下表に示す有効開口径より計算しています。

推奨配置



スティックが開口中央で向き合う

悪い例



スティックを一箇所に固めない

パテレスキットサイズ	開口径(φ)	有効開口径(φ)
75	85	70
100	110	95
125	135	120
150	163	148

設計上の注意事項

- ①本適合表の冷媒管本数は収納の目安となります。
スリーブ径、ボイド径及び占積率をご確認の上施工をお願い致します。
- ②本数は各ガス管、液管の本数です。
保温厚10mmの場合、金属管外径6.35と9.52は被覆金属管の製品上、保温厚は8mmとなります。

保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 20mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51						
	12.70	54						
	15.88	57						
	19.05	61						
	22.22	64						
	25.40	67						
	28.58	70						
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

適合せず

保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 20mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51	1					
	12.70	54	1	1				
	15.88	57	1	1	1			
	19.05	61	1	1	1	1		
	22.22	64	1	1	1			
	25.40	67	1	1				
	28.58	70	1					
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

保温材厚 ガス管 / 20mm	保温材厚 液管 / 20mm							
	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51	2					
	12.70	54	2	2				
	15.88	57	2	2	2			
	19.05	61	2	2	2	2		
	22.22	64	2	2	2	1	1	
	25.40	67	2	2	1	1	1	1
	28.58	70	1	1	1	1	1	1
	31.75	73	1	1	1	1	1	1
	34.92	76	1	1	1	1	1	1
	38.10	80	1	1	1	1	1	1

配管（収納）本数の適合表（ACドレンパイプ 呼び径 25 同時貫通）

※ACドレンパイプ呼び径25以外が貫通する場合の適合表は別途 **エスロンタイムズ** をご参照ください。



エスロンタイムズ
<https://www.eslontimes.com/system/items-view/49/#kit>



パテレスキット 75 （呼び径 75 用 φ 85mm 以下）

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 10mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	1					
	12.70	34						
	15.88	37						
	19.05	41						
	22.22	44						
	25.40	47						
	28.58	50						
	31.75	53						
	34.92	57						
	38.10	60						

パテレスキット 100 （呼び径 100 用 φ 110mm 以下）

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 10mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	2					
	12.70	34	2	2				
	15.88	37	2	2	1			
	19.05	41	2	1	1	1		
	22.22	44	1	1	1	1	1	
	25.40	47	1	1	1	1		
	28.58	50	1	1	1	1		
	31.75	53	1	1				
	34.92	57						
	38.10	60						

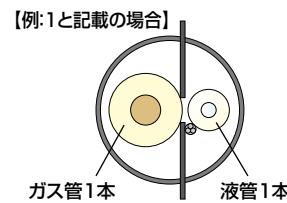
パテレスキット 125 （呼び径 125 用 φ 135mm 以下）

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 10mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	4					
	12.70	34	4	3				
	15.88	37	3	3	3			
	19.05	41	3	3	2	2		
	22.22	44	3	2	2	2	2	
	25.40	47	2	2	2	2	2	1
	28.58	50	2	2	2	2	1	1
	31.75	53	2	2	2	1	1	1
	34.92	57	2	2	1	1	1	1
	38.10	60	1	1	1	1	1	1

パテレスキット 150 （呼び径 150 用 φ 163mm 以下）

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 10mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	27	6					
	12.70	34	5	4				
	15.88	37	4	4	4			
	19.05	41	4	4	3	3		
	22.22	44	4	4	3	3	3	
	25.40	47	3	3	3	3	3	2
	28.58	50	3	3	3	3	2	2
	31.75	53	3	3	3	2	2	2
	34.92	57	3	3	2	2	2	2
	38.10	60	2	2	2	2	2	2

【例:1と記載の場合】



数字は、ガス管、液管の各本数を表しています。

ガス管1本 液管1本

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	1					
	12.70	54	1	1				
	15.88	57						
	19.05	61						
	22.22	64						
	25.40	67						
	28.58	70						
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	2					
	12.70	54	2	2				
	15.88	57	2	2	1			
	19.05	61	1	1	1	1		
	22.22	64	1	1	1	1	1	
	25.40	67	1	1	1	1	1	1
	28.58	70	1	1	1	1	1	1
	31.75	73	1	1	1	1		
	34.92	76	1	1	1	1		
	38.10	80	1	1				

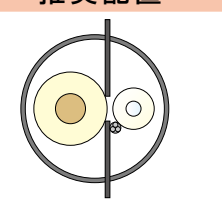
		保温材厚 液管 / 10mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	24	27	34	37	41	44	47
	9.52	51	3					
	12.70	54	3	3				
	15.88	57	3	3	2			
	19.05	61	2	2	2	2		
	22.22	64	2	2	2	2	2	
	25.40	67	2	2	2	2	2	2
	28.58	70	2	2	2	2	2	1
	31.75	73	1	1	1	1	1	1
	34.92	76	1	1	1	1	1	1
	38.10	80	1	1	1	1	1	1

配管（収納）本数の注意事項

本適合表は、以下の条件を元に作成しております。

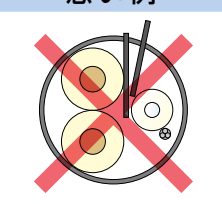
- ①開口径は認定上の最大口径としています。
- ②フィブロックスティックの位置は推奨配置とします。
- ③フィブロックスリーブの内径は下表に示す有効開口径より計算しています。

推奨配置



スティックが開口中央で向き合う

悪い例



スティックを一箇所に固めない

パテレスキットサイズ	開口径(φ)	有効開口径(φ)
75	85	70
100	110	95
125	135	120
150	163	148

設計上の注意事項

- ①本適合表の冷媒管本数は収納の目安となります。
スリーブ径、ボイド径及び占積率をご確認の上施工をお願い致します。
- ②本数は各ガス管、液管の本数です。
保温厚10mmの場合、金属管外径6.35と9.52は被覆金属管の製品上、保温厚は8mmとなります。

		保温材厚 液管 / 20mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51						
	12.70	54						
	15.88	57						
	19.05	61						
	22.22	64						
	25.40	67						
	28.58	70						
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

適合せず

		保温材厚 液管 / 20mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51	1					
	12.70	54	1	1				
	15.88	57	1	1	1			
	19.05	61	1	1	1			
	22.22	64	1	1				
	25.40	67	1					
	28.58	70						
	31.75	73						
	34.92	76						
	38.10	80						

		保温材厚 液管 / 20mm						
保温材厚 ガス管 / 20mm	金属管 外径	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
	金属管 被覆管 外径	48	51	54	57	61	64	67
	9.52	51	2					
	12.70	54	2	2				
	15.88	57	2	2	2			
	19.05	61	2	2	2	1		
	22.22	64	2	2	1	1	1	
	25.40	67	2	1	1	1	1	1
	28.58	70	1	1	1	1	1	1
	31.75	73	1	1	1	1	1	1
	34.92	76	1	1	1	1	1	1
	38.10	80	1	1	1	1	1	1

フィブロック冷媒管用

一巻きするだけの簡単な作業でスピーディに施工が完了!

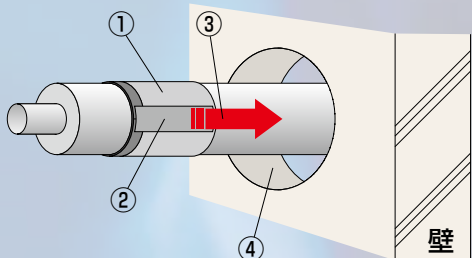


壁・床どちらにでも使えます。

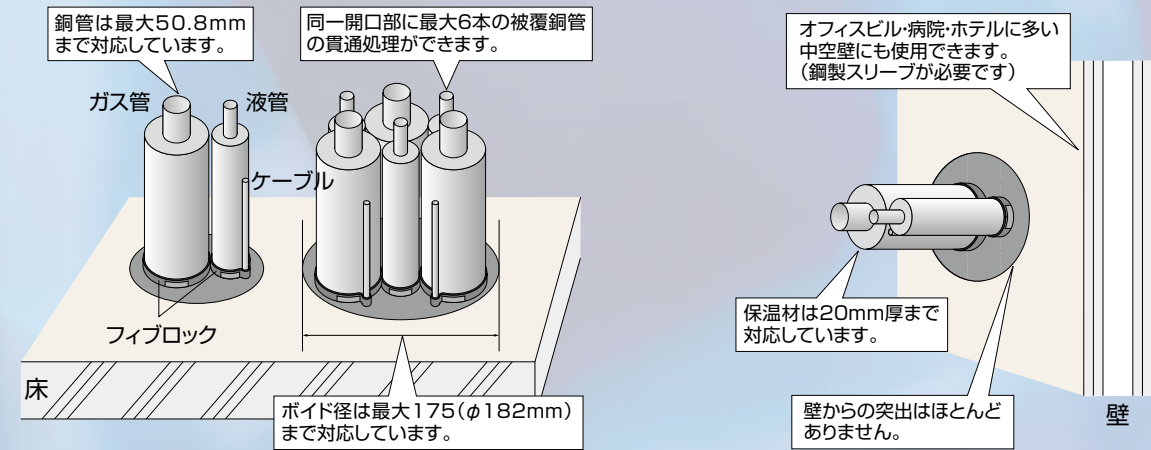
1種類の製品で、各種配管サイズに対応できます。

簡単施工!

- ①フィブロックを巻き付けます。
- ②市販の粘着テープで止めつけます。
- ③フィブロックを貫通部にスライドします。
- ④ロックウール又はモルタルで埋め戻して完了です。



設計の幅が広がる!



フィブロック冷媒管用の適用範囲

- 用途／空調設備配管
- 貫通開口寸法、ボイド径175(φ182mm)以下

〈1開口部に2本以下の被覆銅管が貫通する場合〉

●適用場所、国土交通大臣認定番号

適用場所	材 料	厚 さ	国土交通大臣認定番号
壁	ALC、コンクリート	100mm以上	PS060WL-0131
	中空壁※		PS060WL-0130
床	ALC	100mm以上	PS060FL-0129
	コンクリート	70mm以上	

※国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)および耐火構造(60分)の壁

〈1開口部に3～6本の被覆銅管が貫通する場合〉

●適用場所、国土交通大臣認定番号

適用場所	材 料	厚 さ	国土交通大臣認定番号
壁	ALC、コンクリート	100mm以上	PS060WL-0196
	中空壁※		
床	ALC、コンクリート		PS060FL-0185

※国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)および耐火構造(60分)の壁

※本製品は(一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんのでマンション等の共住区画の貫通部にはお使いいただけません。

●適用管種、占積率

種 類	スぺック	本 数
被 覆 銅 管 (保温材厚20mm以下)	銅管外径50.80mm以下	各1本以下
	銅管外径25.40mm以下	
ケ ー ブ ル	3.5mm ² ×4C(導体総断面積14mm ²)以下	
占 積 率	40.0%以下(φ182以下)、44.2%以下(φ158以下)	

●適用管種、占積率

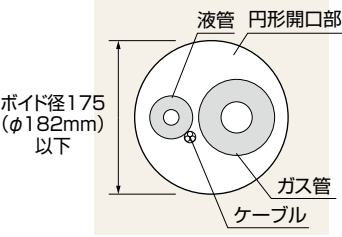
種 類	スぺック	本 数
被 覆 銅 管 (保温材厚20mm以下)	銅管外径38.10mm以下	3本以下
	銅管外径19.05mm以下	3本以下
ケ ー ブ ル	3.5mm ² ×4C(導体総断面積14mm ²)以下	6本以下
占 積 率	51.5%以下	

フィブロック冷媒管用の仕様

品 名	品 番	厚 さ	幅	巻 長 さ
フィブロック冷媒管用	TCEZ001	4mm	120mm	1.2m

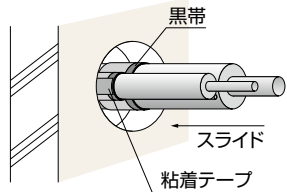
標準施工方法：ALC・コンクリート壁/中空壁の場合

1.開口部の設置



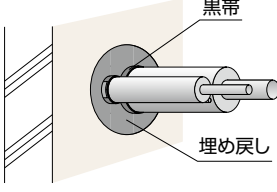
※中空壁の場合は、鋼製スリーブを設置します。

2.片側の蓋(受け材)設置
3.フィブロックの巻き付け

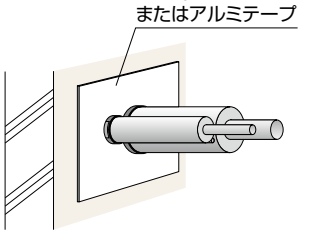


※ガス管は単独で1巻き、液管とケーブル線はセットで1巻きにしてください。

4.ロックウール
(モルタル)充填

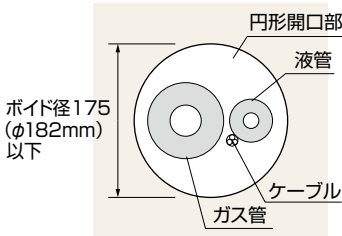


5.蓋の設置

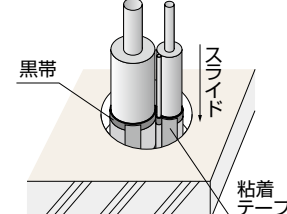


標準施工方法：床の場合

1.開口部の設置

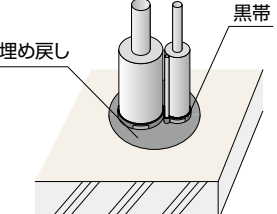


2.床下側の蓋(受け材)設置
3.フィブロックの巻き付け

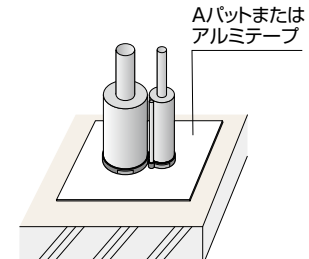


※ガス管は単独で1巻き、液管とケーブル線はセットで1巻きにしてください。

4.ロックウール
(モルタル)充填



5.床上側の蓋の設置



フィブロック1巻きあたりで施工できる箇所数の目安

●1開口部に2本の被覆銅管が貫通する場合(保温材厚:ガス管10mm、液管10mm)

	ガス管	液 管	箇所数
配管の組合わせ例1	φ28.58	φ15.88	3箇所
配管の組合わせ例2	φ50.80	φ25.40	2.5箇所

●1開口部に3本の被覆銅管(3管式)が貫通する場合(保温材厚:ガス管10mm、液管10mm)

	吸入ガス管	吐出しガス管	液管	箇所数
配管の組合わせ例1	φ19.05	φ15.88	φ9.52	2.5箇所
配管の組合わせ例2	φ38.10	φ31.75	φ19.05	2箇所

※必要巻数の計算方法につきましてはP14の計算方法をご参考ください。

適合表の見方 各サイズの表中、左に「ガス管の本数」、右に「液管の本数」を記入しております。目安としてご確認ください。

※本数は各ガス管、液管の本数。
※保温材厚10mmの場合、金属管外径6.35と9.52は被覆金属管の製品上、保温材厚は8mmとなります。

※本数は各ガス管、液管の本数。
※保温材厚10mmの場合、金属管外径6.35と9.52は被覆金属管の製品上、保温材厚は8mmとなります。

		保温材厚 液管 / 10mm						
銅管外径		6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40
保温材厚 力入管 / 20mm	9.52	1	1					
	12.70	1	1	1	1			
	15.88	1	1					
	19.05							
	22.22							
	25.40							
	28.58							
	31.75							
	34.92							
	38.10							
41.28								
44.45								
50.80								

※本数は各ガス管、液管の本数。
※保温材厚10mmの場合、金属管外径6.35と9.52は被覆金属管の製品上、保温材厚は8mmとなります。

※フィブロック冷媒管用は120cm/巻です。

50箇所ある場合 $50 \div 3.5 = 15$ 巻必要となります。